

## 平成29年に実施した食育に関する取組

No.	②名称（教室名等）	③基本目標	⑤主な概要	⑥実施内容				⑧担当課
				実施日	対象者	参加延べ数	その他	
1	食と健康のプランニングセミナー	1-01 1-02 1-03 1-08 1-09	葉酸の摂取を促進し、血清葉酸値の上昇及び動脈硬化の危険因子である血清ホモシステイン値の低下を目指す。当該セミナーへの参加を通じて、市民の実践的な生活習慣改善の取組を促す。	①新規 7～1月 (全7回) ②フォロー 9～1月 (全5回)	市内在住者	①252 ②119	・場所:女子栄養大学、千代田公民館 ・内容:講話、血液検査、運動・食事教室	市民生活課
2	葉酸普及講演会	1-01 1-02 1-03 1-08 1-09	葉酸の摂取を目的としたセミナーにおいて得られた、血液データ改善等にみられる一定の成果をもとに、さらに広範な市民へ葉酸の普及啓発を行い、市民の生活習慣病及び認知症の予防を図る。	11/28	市内在住者	75	・場所:文化会館（ふれあ）	市民生活課
3	プロに学ぶ料理教室 (プロに学ぼう! 味玉メ ニュー&草もち作り教室)	1-02 1-05 1-08 1-10 1-12	食を通じた健康づくり応援店の協力により、葉酸が多く含まれる食材等を活用した料理教室の開催により葉酸の普及及び食育の推進を図る。	11/14	小学1～6年生	20	・場所:大家児童センター	市民生活課
4	プロに学ぶ料理教室 (彩の国地鶏『タマシャモ』 を使った家庭料理)	1-02 1-05 1-08 1-10 1-12	食を通じた健康づくり応援店の協力により、葉酸が多く含まれる食材等を活用した料理教室の開催により葉酸の普及及び食育の推進を図る。	2/6	市内在住者	21	・場所:入西地域交流センター	市民生活課
5	食を通じた健康づくり応援店 普及促進事業	1-02 1-08 1-09 1-13 1-14	食を通じて健康づくりを応援する店舗の普及を促進することにより、市民の健康を地域主体で支える環境の整備を図り、もって健康なまちづくりの推進を図る。	通年	-	-	・登録店舗数:43店舗 ・登録メニュー数:89品 ・葉酸F17の開催実施日:4/3～4/10 ・参加店舗数:33店舗	市民生活課
6	市民ボランティアによる健康 づくり活動の支援	1-02 2-02 3-01 4-01 6-01	市民の健康づくりを支援する団体を育成することで、市民主体の健康づくりを推進する。事務局として、市民ボランティアへの支援として、実践活動の場や健康情報の提供等を行っている。	通年	市内在住者	178	市民ボランティアによる地域における健康講座の支援 場所:坂戸市内 集会所・公民館等	市民生活課
7	食育に関する啓発活動	1-01 1-02 1-03 1-04 1-05	6月の食育月間に合わせて、幅広い世代の方に目にしていただくよう、食育に関する啓発活動を実施し、食育の推進を図った。	6月	-	-	・市役所市民ホールにパネルを設置し、食育に関する事業紹介（写真やポスター掲示）を実施。 ・市民課窓口のディスプレイにて行政情報を放映し、食育月間についての周知。 ・各課窓口ミニのぼり旗を設置し、食育月間について周知。 ・自動販売機のメッセージボードを活用し、食育に関するメッセージを発信。	市民生活課

## 平成29年に実施した食育に関する取組

No.	②名称（教室名等）	③基本目標	⑤主な概要	⑥実施内容				⑧担当課
				実施日	対象者	参加延べ数	その他	
8	生活習慣病重症化予防対策事業	1-03 1-06 5-09	人工透析の移行を防ぐために、国民健康保険被保険者を対象に特定健診やレセプトデータを活用した、受診勧奨、保健指導、継続支援を行う。  ①受診勧奨 未受診者及び受診中断者に対して、個別に受診勧奨を行う。 ②保健指導 県プログラムに基づき、かかりつけ医の指示のもと、4～6か月間、専門職が面談、電話による保健指導を行う。	6～3月	①糖尿病重症化リスクの高い未受診者及び受診中断者 ②レセプトデータ及び特定健診データから糖尿病性腎症と推定された者	①未受診者 65 受診中断者 14 ②保健指導 11	場所:対象者自宅、市民健康センター等	市民健康センター 健康保険課
9	成人歯科健康診査	1-04 5-02 5-03 5-09	むし歯、歯周病等の検査	7～12月	40・50・60・70歳の者	282	場所:実施医療機関	市民健康センター
10	食改の伝達クッキング（骨元気クッキング）	1-02 1-03 1-05 1-06 1-09	坂戸市食生活改善推進員が望ましい食生活の普及伝達を目的に、基礎的な栄養についての講義と調理実習を行い、食を通じて健康増進及び生活習慣病の予防を図る。	2/28	市内在住者	21	場所:市民健康センター 対象者には事前に通知	市民健康センター
11	歯科医師の講話	1-04 5-02 5-03 5-09	歯科医師による口腔疾患の予防に関する講話	10/27	市内在住者	28	場所:坂戸市ワークプラザ	市民健康センター
12	慢性腎臓病予防講演会	1-03 5-01 5-09 5-10 5-11	腎機能の指標であるクレアチン値の普及啓発に努めることで、慢性腎臓病の予防を図り、人工透析治療への移行時期の延伸を通じて医療費支出の抑制をめざす。	10/18	市内在住者等	82	場所:坂戸市ワークプラザ 健診結果よりリスクが高い者を抽出し、案内を送付。	市民健康センター
13	慢性腎臓病の食事教室	1-03 1-04 1-06 1-09 5-09	腎機能を低下させない食生活について、講義を通して、理解を深める機会とする。	11/2 11/13	市内在住者	66	2日間1コース 場所:市民健康センター	市民健康センター
14	パパママ教室	1-02 1-03 1-06 1-08	安定した気持ちで出産・育児ができるよう知識や技術を習得するとともに、妊娠中から子育てにつながる仲間を作ること为目标として実施。母親とともに父親の育児参加を意識付けるためのプログラムを取り入れ、父親の参加を促す。	①3日間コース3回/年（5～2月） ②半日コース土曜日実施）3回/年（7・11・3月）	妊婦及びその夫・家族	①3日間コース86 ②半日コース80	場所:市民健康センター	市民健康センター
15	離乳食講習会	1-01 1-02 1-03 1-05	離乳を順調に進めていくために必要な知識を、栄養に加え、保健、歯科など多方面の講義と試食を通じて保護者の理解を深め、食を通じた支援を行う。	通年 (全9回)	生後4か月から1歳未満のお子さんと保護者	127	場所:市民健康センター	市民健康センター
16	幼児クラブ(3歳児対象)「お団子を作ろう」	1-04	年間20回行っている幼児のクラブ（登録制）の中で、親子に向けての食育を実施。親子で一緒に作る楽しさを味わいながら、出来上がった団子をみんなで食べる楽しさを味わう。	9/28	幼児クラブ参加者数(3歳児対象)	26	参加者数:幼児親子13組	千代田児童センター

## 平成29年に実施した食育に関する取組

No.	②名称(教室名等)	③基本目標	⑤主な概要	⑥実施内容				⑧担当課
				実施日	対象者	参加延べ数	その他	
17	クッキングクラブ(小学生対象)	1-02 1-03 1-04 1-05	年間10回行っている小学生(登録制16人)のクラブ。女子栄養大学生が毎回旬の食材を使った献立を作り、レビ <sup>®</sup> に沿った調理を指導する。	通年 (全10回)	登録している小学4年生～6年生	140	登録小学生14名	千代田児童センター
18	料理教室	1-03 1-04 1-05	毎年度実施しており、1回につき16人を定員。小学生を対象にレビ <sup>®</sup> に沿っての料理を体験する。	4/8 7/29 8/31 11/24	幼児親子～小学6年生	57		千代田児童センター
19	幼児クラブ(3歳児対象) 「ミニ遠足」	1-07 1-10 1-12	年間20回行っている幼児のクラブ(登録制)の中で、親子に向けての食育を実施。筑波大付属坂戸高校にて、豚やひよこの小動物とのふれあいや季節の野菜の様子を観察する。産みだての温かいにわたりの卵に触れることでも命の大切さを学ぶ。	5/12	登録している3歳児 親子20組	18	・幼児親子9組	千代田児童センター
20	料理クラブ	1-05	女子栄養大学生がカECOSと坂戸市食生活改善推進委員会による料理教室。	5～7月 (全7回)	小学3～6年生	60	工作室(調理室を兼ねている)	大家児童センター
21	クッキング教室	1-05	夏休みの小学生向けの企画。古川あつ子先生プロデュース。(ライスケーキ作り)	8/8	小学1～6年生	16	工作室(調理室を兼ねている)	大家児童センター
22	クッキング教室	1-05	女子栄養大学生がカECOSによるクッキング教室。	11～12月 (全2回)	小学1～6年生	32	工作室(調理室を兼ねている)	大家児童センター
23	プロに学ぶ料理教室	1-05 1-12 1-08 1-14	楽しくかしく食べて健康な心と身体を育む食育として、望ましい食の理解と実践を促すための食育特別授業	11/14	小学1～6年生	20		大家児童センター
24	巻きずし教室	1-05	郷土料理である太巻き祭りずしを作る。講師：古川あつ子先生	12/9	小学1～6年生	16	工作室(調理室を兼ねている)	大家児童センター
25	幼児クラブ(幼児事業) 「遠足ごっこ」	1-07 1-10 1-12	毎週水曜日に行っている「幼児クラブ」の一環で、幼児親子を対象に「遠足ごっこ」を実施する。	10/18	2・3歳幼児と保護者	22		三芳野児童センター
26	ジュニアクッキング教室	1-05 1-07	毎年度実施しており、16名までを定員とし、小学生を対象にレビ <sup>®</sup> に沿っての料理を体験する。	通年 (全10回)	小学4～6年生	130		三芳野児童センター
27	おやつを作って食べよう・季節の料理教室	1-05 1-07 1-12	毎年実施しており一回につき15名までを定員とし、小学生を対象にレビ <sup>®</sup> に沿っての、おやつ作りを体験する。	6/10 12/16	小学1～6年生	24		三芳野児童センター
28	幼児クラブ(幼児事業) 「秋カフェ」「冬カフェ」	1-05 1-07 1-12	毎週水曜日に行っている「幼児クラブ」の一環で、幼児親子を対象に「秋カフェ」と「冬カフェ」を実施する。	9/13 1/17	2・3歳幼児と保護者	47		三芳野児童センター
29	料理教室	1-05	講師ランティアにより、自分で手作りの食事を準備できるように、レビ <sup>®</sup> に沿っての料理体験を実施する。	5～12月 (全3回)	小学1～6年生	45		坂戸児童センター
30	もぐもぐタイム (子育て家庭向け試食会)	1-02 1-03 1-05 1-06	保育園在園児以外の子育て家庭の親子を対象に試食会を開催する。実際に保育園給食を試食してもらい、味付け等を体験する。	10・12月 (全2回)	公立保育園6園を事業実施場所とし、1歳半から小学校就学前の乳幼児とその保護者が対象	20	10月7組 12月3組	保育課

## 平成29年に実施した食育に関する取組

No.	②名称（教室名等）	③基本目標	⑤主な概要	⑥実施内容				⑧担当課
				実施日	対象者	参加延べ数	その他	
31	野菜の栽培とクッキング	1-04 1-05 1-07 1-10 1-12	園児自らが野菜を育て、収穫する。収穫した野菜を使用したクッキングをし、食への関心や感謝する気持ちを育む。	5～9月	保育園児	321	ミモロ、ピーマン、なす、きゅうり、ゴーヤ、枝豆等を栽培し、収穫した。収穫した野菜を使用して、野菜ビュッゲやパゲテ、やきそばを調理した。	坂戸保育園 東坂戸保育園 千代田保育園 溝端保育園 薬師保育園 城山保育園
32	米作りとおにぎりづくり	1-04 1-05 1-07 1-10 1-12	園児自らが発泡スチロール箱の中に苗植えを体験し、収穫する。収穫した米を炊飯し、おにぎりを作る。	5～11月	保育園児	36		千代田保育園 城山保育園
33	バター作り	1-05 1-07 1-10	女子栄養大学から講師を招き、4・5歳児を対象にバター作りを実施する。食品が変化していく過程を体験し、食に対する意識を高める。	2/14	保育園児	29		坂戸保育園
34	ひなまつり茶会	1-06	保育園児と保護者を対象としてひなまつりの行事として茶会を実施する。	2/23	保育園児と保護者	46		千代田保育園
35	食育教室	1-06	食育ボランティアの学生による食育教室を実施する。	9/11	保育園児（3, 4, 5歳児）	90		溝端保育園
36	さかど“はっする”クラブ（運動・口腔・栄養複合）	1-02 1-06 2-02 5-03 4-02	運動器の機能向上・口腔機能の向上・栄養改善のためのサービスをそれぞれ提供した。また、高齢者自らの自主的な介護予防への取り組みを継続的に進めるものとした。	①5～7月 ②9～11月 ③1～3月 (各12回)	概ね65歳以上で運動制限のない方	286	・場所：サポ-センター さくら ・参加費：1,000円 (運動用バンドや試食材料代)	高齢者福祉課
37	軽トラック市	1-12	坂戸市産農産物のPRを行うとともに、市内の農家等が生産した農産物等の消費拡大に資するとともに、農家が自らの生産物を自ら売ることの意識の向上及び農家間の交流を目的として実施する。	通年 (全63回)	農業者、近接住民	12,000	市内3箇所	農業振興課
38	地場産野菜等の給食導入	1-10 1-12	学校給食を通じ児童生徒が望ましい食生活や食糧の生産等、地産地消に対する関心と理解を深めることを目的として、坂戸産のお米や地元で生産された野菜・卵などの地場産物を使用した学校給食を実施する。	6～1月 (随時)	小・中学生、教員	8,131	16校で、JAを通じて地場産野菜(じゃがいも、玉ねぎ、大根、白菜、きゃべつ、人参、きゅうり)の7品目の7,743.2kgを使用した。	教育総務課
39	さかど葉酸ブレッドの給食導入	1-08 1-12	児童生徒及び保護者に坂戸市が進めている健康政策と地産地消の理解を図ることを目的として、市内小・中学校の学校給食で「さかど葉酸ブレッド」を各学校年1回ずつ導入する。	6～2月 (全18回)	小・中学生、教員	7,583	市内小・中学校全校の学校給食で「さかど葉酸ブレッド」を各学校年1回ずつ導入した。使用数量は全校で7,969枚。(若宮中は雪の影響で中止)	教育総務課
40	筑波大坂戸高校の生徒が栽培した農作物の給食導入	1-10 1-12	地産地消の一環として、筑波大付属坂戸高校の生徒が授業で栽培した農作物を坂戸市立小中学校の給食へ使用する取り組みを実施する。	6月 11月 12月	小・中学生、教員	1,711	・坂戸中学校、南小学校、坂戸小学校の3校で実施 ・大根、白菜、きゃべつを購入 ・実施日は各校によって異なる。	教育総務課
41	こすもす作業所で栽培した農産物の給食導入	1-10 1-12	学校給食を通じ、児童生徒の地産地消に対する関心と理解を深めることを目的として、地元の福祉作業所で栽培した農産物を使用する。	9月	小・中学生、教員	1,585	・三芳野小学校、勝呂小学校、上谷小学校、住吉中学校の4校で実施。 ・玉ねぎ、じゃが芋を購入 ・実施日は各校によって異なる。	教育総務課
42	「わたしの歯っぴーファイル」を活用した歯科保健指導	1-04 5-03	小学校1年生に「わたしの歯っぴーファイル」を配布。児童及び保護者が自分の歯や口の健康状態に関心を持ち、必要な態度や習慣を身につける。また、各校でカラースタ-（染め出し液）を使用しながら歯のみがき残し等を確認し、虫歯予防に役立てる。	4月	小学校1年生とその保護者、教員	868	・坂戸鶴ヶ島歯科医師会からの寄付。 ・全校小学校1年生に配布 ・実施は各校が随時。	教育総務課

## 平成29年に実施した食育に関する取組

No.	②名称（教室名等）	③基本目標	⑤主な概要	⑥実施内容				⑧担当課
				実施日	対象者	参加延べ数	その他	
43	じゃがいも掘り（5歳児）	1-05 1-11 1-12 4-02 4-03	シルバー農園でのじゃがいも掘りと種植えをし、自ら種植えしたじゃがいもを収穫し、家庭で調理し、そして家族と共に楽しみながら味わうことにより、種植えから食事まで一貫した「食育」が行える。また、シルバー人材センターの高齢者と園児の世代を超えた交流も併せて行える行事である。	6/29	年長児	77	雨天のためじゃがいも掘りはできなかったが、畑へ行き、生育の状況を学んだ。後日シルバー農園の方がじゃがいもを園に届けてくださり収穫の様子を聞かせていただいた。	末広幼稚園
44	じゃがいもの種植え（4歳児）	1-05 1-11 1-12 4-02 4-03	シルバー農園でのじゃがいも掘りと種植えをし、自ら種植えしたじゃがいもを収穫し、家庭で調理し、そして家族と共に楽しみながら味わうことにより、種植えから食事まで一貫した「食育」が行える。また、シルバー人材センターの高齢者と園児の世代を超えた交流も併せて行える行事である。	2/26	年少児	62	3学期、4歳児クラスはシルバー人材センターの方々にじゃがいもの種植え、生育について教えていただきながら、種植えをした。	末広幼稚園
45	行事食を食し、季節を感じる	1-07	季節の行事に沿った「行事食」を食すことにより、その行事と食のつながりを学ぶと共に、日本文化、歴史を体験として感じることができる機会である。	4/28 2/2 3/2	全園児	355	子どもの日は柏餅、節分の日には福豆、ひなまつりは三色団子を、先生や友だちと一緒に食し、行事と食のつながりを学んだり、みんなで食べたりすることを楽しんだ。	末広幼稚園
46	園庭における果物栽培	1-10	幼稚園庭にあるミニ花壇を利用し、野菜や果物（みかん、カラシ等）を栽培する。栽培を通じて、果物の成長や収穫の喜びを感じることができる。	通年	全園児	312	花壇やプランターでミニトマト、ゴーヤ等を栽培し、成長を観察したり収穫をした。	末広幼稚園
47	わくわくモーモースクール	1-10	体験型の食育モデル事業として、希望があった市内の小学校に牛を連れていき、「搾乳・ふれあい体験」、「哺乳・子牛とのふれあい体験」、「牧場・牛の体の話」、「ミルクカーでの搾乳実演と生産者の話」を実施した。	11/13	三芳野小学校の1～3年生	176	場所：三芳野小学校 対象：1から3年生 参加者数：児童151名、保護者25名	学校教育課
48	食育プログラム	1-01 1-02 1-10 1-15 1-16	女子栄養大学と協働し、児童生徒の健康並びに食生活の向上を目指したオリジナルの食育プログラム（授業）に取り組んでいる。	通年	全小学校5年生・6年生、全中学校1年生		教職員への食育プログラム研修会の実施（1回）	学校教育課 教育センター
49	ファミリージャガイモ作り教室	1-07 1-10 1-12	農作物の尊さを考えとともに、土の感触と種植えから収穫までの喜びを家族や友人と共に味わう。	3～6月 (全4回)	市内在住・在勤者	256	29組	三芳野公民館
50	ふるさと料理教室	1-03 1-05 1-08 1-12	三芳野をテーマとしたふるさとの料理教室を開催し、参加者の交流を図る。	2/9	市内在住・在勤者	16		三芳野公民館
51	地産地消クッキング教室	1-12	地元直売所の新鮮な食材を使った家庭料理を学び、地産地消意識を高める。	9/6	20歳以上の市民	16		勝呂公民館
52	葉酸料理教室	1-05 1-08	葉酸を多く含む野菜を使った料理を学び、健康づくりを推進する。	9/13	20歳以上の市民	10		千代田公民館
53	初心者ウォーキング&健康アップ講座	1-06 2-03 4-02	初心者を対象に健康を維持するためにウォーキングの必要性を理解し、その習慣化を目指すとともに食生活のアドバイスと参加者相互の交流を図る。	11/29 3/2	20歳以上の市民	40		千代田公民館